

4号機 高圧第1給水加熱器(A)伝熱管内での異物発見・回収について(続報)

平成16年12月1日

4号機(平成16年9月29日から定期点検中)において、11月4日、高圧第1給水加熱器(A)の伝熱管内から金属製の異物(長さ約170mm、幅約3mm、厚さ約0.2mm)を回収しました。

(平成16年11月5日お知らせ済み)

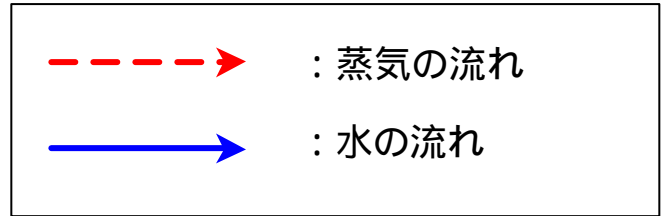
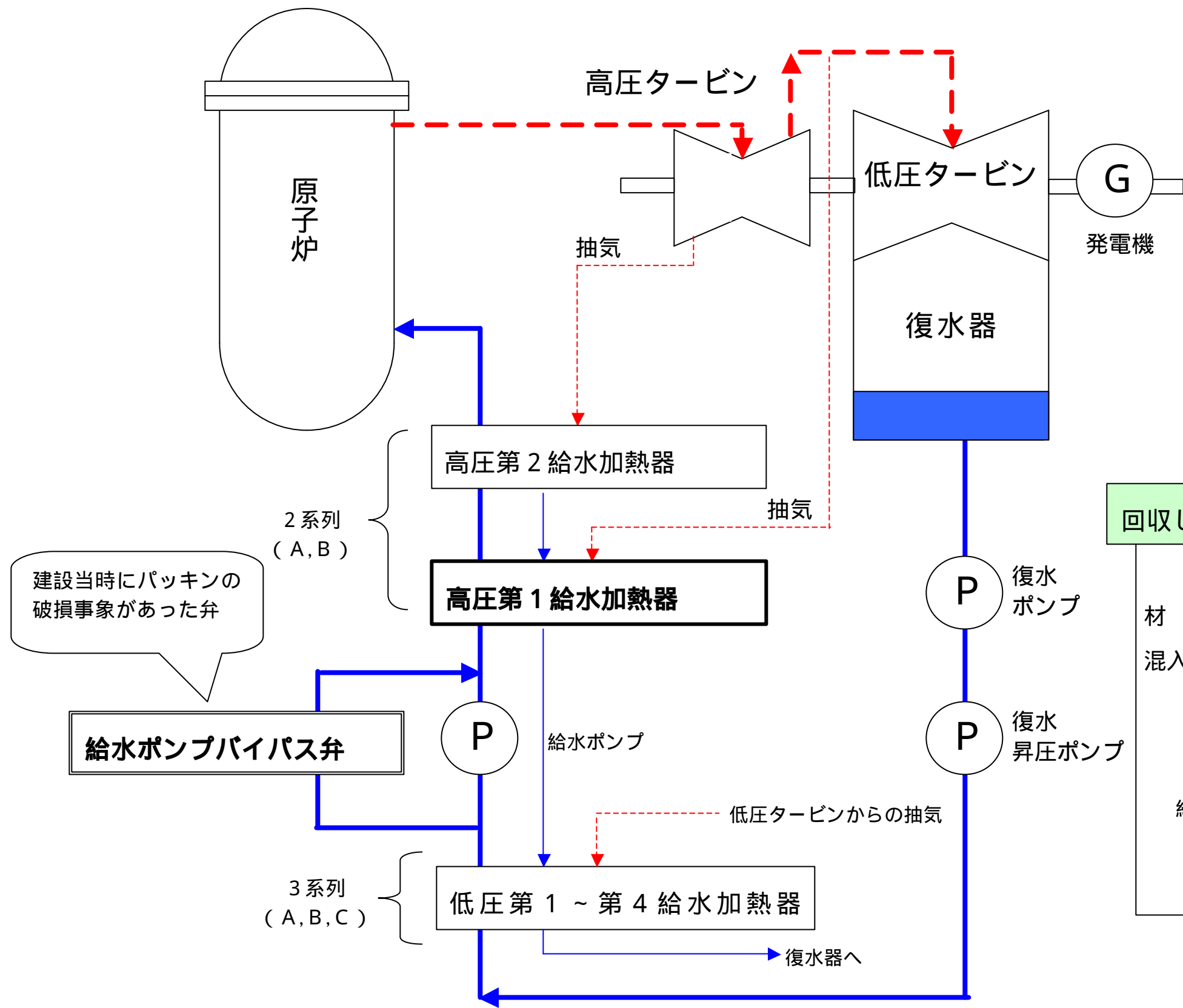
分析の結果、回収した異物は弁や配管等のつなぎ目(フランジ)に用いるパッキンの一部で、さびの付着状況から数年間水中に存在していた可能性があることが分かりました。

過去の点検記録を確認したところ、プラント建設時に給水ポンプバイパス弁のパッキンの一部が過大な圧力で締め付けられたことにより破損し、破損したかけらを回収したという事象がありました。今回発見した異物は、この時の残留物であると考えられます。

このため、当該弁から原子炉に至る系統の機器、弁、配管及び原子炉内で、異物の滞留する可能性のある箇所について目視点検を実施し、他に残留物がないことを確認しました。

プラント建設時のパッキン破損事象以降、機器の分解復旧時におけるフランジ等の適切な締め付け管理を徹底してきており、今後も、適切に管理してまいります。

以上



回収した異物(パッキンの一部)

材質: ステンレス製

混入源: 給水ポンプバイパス弁

断面図

約3mm

厚さ: 約0.2mm

約170mm